

関西合唱団 75周年記念の演奏会で

あなたも一緒に歌いませんか♪

ともに歌う団員募集

関西合唱団は今年、創立75年を迎えました。

平和を願ううた、生きる希望が出るうた、心なくさめるうた…

うたうことは生きる力、こころをひとつにしてくれます

75周年を記念してふたつの新曲を初演します

ぜひあなたも一緒にうたってみませんか

演奏曲；【月曜日練習曲】

♪ 7つのアンセム・メドレーより「新大陸縦断紀行」（信長貴富 編曲）

♪ 「戦争と愛のバラード」新版（新実徳英 作曲）など

【木曜日練習曲】

♪ 新しい合唱組曲「クウネルワラウ死ぬまで生きる(仮称)」（上田假奈代 作詞、長森かおる・安広真理 作曲）

♪ 青年とともに歌う楽曲「IMAGINE」（金井信 編曲）他

演奏；関西合唱団 創立75周年記念第87回定期演奏会

開催日；2024年10月5日(土)・6日(日)

指揮；山本 恵造

ピアノ；門 万沙子、石田 瑞枝

練習日時；毎週月曜日、木曜日午後6時45分から9時

2024年から別に特別練習が入ります。

ただし、木曜日練習については、新しい合唱組曲の作曲中のため、練習は1月11日(木)から開始します。

練習会場；大阪音楽センター会館（大阪市城東区鳴野西5-17-16）

（JR学研都市線、地下鉄今里線「鳴野」駅下車徒歩8分）

団費；月3,000円（楽譜、資料代金等を含みます）

2023年12月までは、月2,000円となります。

関西合唱団

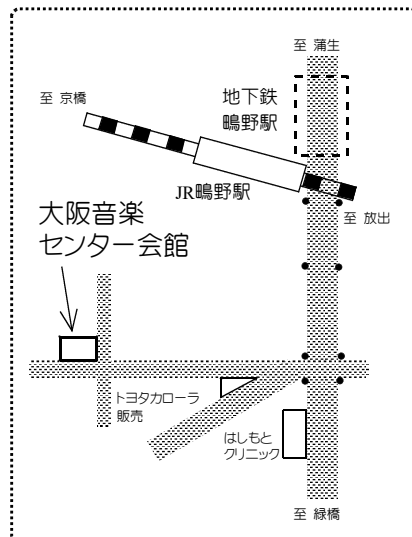
お問合せ、

お申込みは

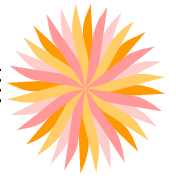
TEL；06-6962-5482 FAX；06-6969-1261

E-mail；kansaigasshoudan@yahoo.co.jp

HP；<http://kansaigassyoudan.sakura.ne.jp/>



曲目の紹介



【月曜日練習曲】

“7つのアンセム・メドレー”より「新大陸縦断紀行」

読売日本交響楽団指揮者の山田和樹さんが東京混声合唱団のために作曲家信長貴富さんに編曲依頼したのが「アンセム・プロジェクト」です。「アンセム」とは世界各国の国歌、第2の国歌のように愛唱されている歌のこと。うたで世界をつなごうという壮大なプロジェクトです。

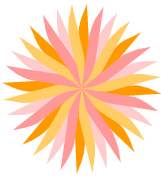
今回は7つのメドレーの中から、南北アメリカ大陸のうた「新大陸縦断紀行」を歌います。「コンドルは飛んで行く」「コーヒー・ルンバ」「ブラジルの水彩画」「ラ・クカラチャ」「時には母のない子のように」「アメイジング・グレイス」の6曲。サンバからジャズまでアレンジがとっても面白い！歌う楽しさ、喜びが湧いてくること間違いなし！リズムにチャレンジもやりがいがありますよ。

「戦争と愛のバラード」新版

この曲は、実は今年7月の定期演奏会で初演してインパクトの強い作品でした。作曲の新実徳英先生の意向で、その後3曲のうち2曲の歌詞を差し換えて新しい組曲として生まれ変わりました。1曲目と3曲目の歌詞が変わります。1曲目は「あの人は彼方」（栗原 寛 作詞）、3曲目は「帰還」（竹内浩三 詩）。2曲目の「戦争の4年目」（ヘルマン・ヘッセ 詩）は変わりありません。

戦争で不条理に恋人や家族が引き裂かれるなかでも決して消えることのない不滅の愛が歌われます。新曲初演となります。

【木曜日練習曲】



新しい合唱組曲「クウネルフラウ死ぬまで生きる（仮称）」

♪女の子、男の子、女の子、男の子 どっちでいたらいいの？♪

♪難民生活 ずっとがまん いつまでわからない♪

♪ギリギリのなか、その子がだんだんたのしいリーダーになっていく 信じているから 誰もがいまの自分よりよくなりたいから♪

今年の新作はとてもチャレンジングな作品です。トランスジェンダー、外国人難民とその支援者、青少年の居場所づくり、障害者とその家族、コロナ禍の保健所職員の方々に聞き取りをして歌詞を作ってきました。残念ながら日本の社会は、「違い」を抱えた人が自分らしく生きていくには様々な困難があります。そんな中で「生きづらさ」を抱えた人に寄り添える社会、みんなが自分らしく笑い合って生きていける社会を願ってこの曲を作りたいと考えました。

取材と作詞は、これまで医療介護、子どもの虐待、平和をテーマに3曲をつくっていただいた上田假奈代さんに、作曲は安広真理さんと長森かおるさんのお二人につくっていただきます。とにかく歌詞が面白いですよ…どんな曲ができるか乞うご期待！

《 第87回関西合唱団定期演奏会 とともに歌う団員 申込用紙 》

お名前	ふりがな	パート	合唱の経験
		S, A, T, B, 不明	有, 無
ご住所	〒(-)		
T E L		F A X	
Eメール	@	その他	